

安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名 泡クリーン
 会社名 蔵王産業株式会社 商事営業本部第2課
 住所 東京都目黒区柿の木坂 1-5-1
 電話番号 03-5701-7272
 FAX 番号 03-5701-7575

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

物理化学的危険性	分類基準に該当しない
健康に対する有害性	呼吸器感作性 分類できない 特定標的臓器毒性 分類できない 吸引性呼吸器有害性 分類できない
環境に対する有害性	オゾン層への有害性 分類できない

※上記で記載の無い危険有害性情報は分類対象外又は区分外

GHS ラベル要素

絵表示又はシンボル	該当しない
注意喚起語	該当しない
危険有害性情報	該当しない
注意書き・安全対策	記載すべき情報は無いがヌメリが残るので 炊事用手袋・保護眼鏡着用 飲み込んだ場合は直ちに医師の診察を受ける 4項参照

3. 組成、成分情報

化学物質・混合物の区分 混合物
 成分・含有量 シリコーンエマルジョン

4. 適応処置

吸入した場合	・症状が出た場合は直ちに被災者を新鮮な空気の有る場所に移動し 症状により医師の診察を受ける
皮膚に付着した場合	・特に記す事は無いがヌメリが残るので、石鹸、流水で洗う
目に入った場合	・直ちに流水で洗眼し（5分以上）症状により医師の診察を受ける コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外す事
飲み込んだ場合	・水で口の中を洗浄し（うがい）コップ1～2杯の水を飲み吐き 出す。気分が悪い時は医師の診察を受ける（成分表を持参）

5. 火災時の処置

・粉末消火剤 危険でなければ容器を火災区域から移動する

6. 漏出時の処置

- ・モップ若しくはウエスで良く拭き取り濯ぎ流す
- ・ヌメル場合は食酢を散布して転倒防止処置をする

7. 取り扱い及び保管上注意

取扱い

技術的対策

- ・取扱場所に洗眼用具を設置しておく

注意事項

- ・容器を転倒若しくは落下する等の衝撃を与えない

安全取扱い注意事項

- ・取り扱い後は手を良く洗う
- 取説を参照してから使用する

保管

保管条件

- ・密栓した容器で直射日光を避け換気の良い暗所で保管する
- ・飲食容器と隔離する
- 幼児等の手の届かない所に置く

混触危険物質

- ・特に記す事は無い

安全な容器包装材料

- ・塩ビ、ポリエチレン等の石油製品を使用する

8. 暴露防止及び保護処置

設備対策

- ・特に記す事は無い

管理濃度

- ・設定されていない

許容濃度

- ・設定されていない

保護具

呼吸器の保護具

- ・状況により保護マスク使用

手の保護具

- ・炊事用手袋使用

目の保護具

- ・保護眼鏡使用

皮膚及び身体の保護具

- ・状況に応じて着用

9. 物理的及び科学的性質

外観

- ・白色粘性液体

臭い

- ・無臭

比重

- ・1.05 (20°C)

PH

- ・7 (原液)

沸点

- ・データ無し

融点

- ・データ無し

蒸気圧・密度

- ・データ無し

燃焼・爆発範囲

- ・データ無し

自然発火温度

- ・データ無し

オクタノール・水分係数

- ・データ無し

溶解

- ・水に溶解

10. 安全性及び反応性

安全性

- ・当品自体は安全で有る

危険有害反応可能性

- ・データ無し

避けるべき条件

- ・データ無し

混触危険物質

- ・特に記す事は無い

危険有害な分解生成物

- ・データ無し

1 1. 有害性情報

急性毒性 経口	・区分外
急性毒性 経皮	・区分外
急性毒性 吸入	・データ無し
皮膚腐食性刺激性	・区分外・特に記す事は無い
眼に対する損傷性、刺激性	・区分外・損傷性、刺激性は無い
呼吸器感作性又は皮膚感作性	・データ無し
生殖細胞変異原性	・データ無し
発がん性	・IARC・NTP・産衛学会に記載されていない
生殖毒性	・データ無し
特定標的臓器毒性	・データ無し
吸引性呼吸器有毒性	・データ無し

1 2. 環境影響情報

生態毒性	・ニジマス、96 h LC50 : 100mg/L (主成分原液)
残留性・分解性	・データ無し
生体蓄積性	・データ無し
土壤中の移動性	・データ無し
オゾン層への有害性	・データ無し
一般的な注意事項	・特に記す事は無い

1 3. 廃棄上の注意

残余廃棄物	・多量の水で希釈して廃棄する・当社宛に送付する ・河川法、水質汚濁防止法及び地方条例に従う事
汚染容器及び包装	・空容器を廃棄する場合は良く濯ぎ洗う事

1 4. 輸送上の注意

航空規制情報	・非該当
特別な安全対策	・飲食容器とは隔離する・容器の破損、液漏れの安全確認をする ・荷崩れ防止を確実にを行う

1 5. 適用法令

労働安全衛生法	・非該当 対象物に該当しない
消防法	・非該当
水質汚濁防止法	・河川法及び地方条例に従う事 ph7
船舶安全法	・非該当
航空法	・非該当
毒劇法 (薬事法)	・非該当 (普通物)
P R T R 法	・非該当 指定物質に該当しない

1 6. その他の情報

・事故災害例無し
